

2026 年 8 月 25 日

医学系研究の実施に関するお知らせ

研究課題名	顎変形症患者における鼻中隔彎曲症の重症度および上顎矯正手術後の変化に関する後方視的検討	
研究責任者	大阪歯科大学附属病院・耳鼻咽喉科・科長・小川 真	
1. 研究の対象	2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の間に、本学附属病院において顎変形症に対する顎矯正手術（Le Fort I 型骨切り術）を施行された患者さんを対象とします。また比較対照群として、同期間に上顎嚢胞または歯原性嚢胞に対する手術を施行された患者さんを対象とします。ただし、過去に鼻副鼻腔に対する手術歴のある患者さん、あるいは、過去に鼻副鼻腔に影響を及ぼすような外傷を受けた患者さんは除外します。	
2. 研究目的	顎変形症における鼻中隔彎曲症の頻度、および重症度を定量的に評価するとともに、上顎矯正術後における鼻中隔彎曲の変化の有無を明らかにすることを目的とします。さらに、顎変形症の疾患の種類、年齢、性などの臨床的因子と、鼻中隔彎曲症の頻度、重症度との関連性についても検討します。	
3. 研究方法	本研究は電子カルテに記録された情報、および画像検査データを用いた後方視的観察研究であり、大阪歯科大学倫理委員会の承認を受けて実施されます。電子カルテより、術前後の鼻症状、性別、年齢、顎変形症の疾患についての情報を取得します。内視鏡所見からは彎曲の向き、位置、稜・棘の有無、経鼻挿管への影響を評価します。一方、CT 画像からは nasal septal deviation angle などの客観的指標を計測し、性別、年齢、顎変形症の疾患別などの因子との関連について検討します。さらに術前後で内視鏡所見を比較し、特に術後鼻中隔彎曲の増悪の有無間で比較を行います。また、比較対照群として、同期間に本学附属病院において上顎嚢胞または歯原性嚢胞に対して手術を施行された症例を対照として設定し、鼻中隔彎曲症の頻度・程度について比較を行います。取得した情報は、顎変形症患者群・対照群のいずれも研究責任者が匿名化した上で解析を行います。研究データは、研究責任者が責任を持って、パスワード付きの USB メモリに保存して、保管庫で管理保管庫に施錠して保管し、附属病院外部には持ち出しません。またいずれの群の患者さんにおいても新たな負担は発生しません。	
4. 研究期間	2026 年 7 月 28 日から 2027 年 3 月 31 日	
5. 研究に利用する試料・情報の種類	(1)試料	本研究で用いることはありません。
	(2)情報	カルテに記載された性別、生年月日、カルテ番号、顎変形症の疾患名、内視鏡画像・所見、顎顔面 CT 画像・所見。

		なお、本研究で取得・使用した情報は本研究と同様の研究に今後利用することがあります。
6. お問い合わせ先	担当者	大阪歯科大学附属病院・耳鼻咽喉科・科長 小川 真
	住 所	〒540-0008 大阪市中央区大手前 1 丁目 5 番 17 号 大阪歯科大学附属病院 6 階
	電 話	06-6910-4690

本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、上記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。